

# 一年学年だより

No. 4 【 7月号】

令和5年6月27日発行

## Slowly but steadily (ゆっくりと、でも着実に)

山ほど覚えた英語のことわざも、年を重ねてすっかり忘れてしまった私だが、これだけは、何かに付けてふと思い出す。実は、私の父がよく口にしていた言葉の一つである。仕事が重なり、やることがたくさんあるけれど、うまくいかないなど少し弱気になっていると、ふとこの言葉を思い出すのである。ここで一つ深呼吸をして、さあ頑張ろうと気合を入れ直すことができる。とにかく、目の前のことに一つずつ取り組み、自分の最善を尽くすしか前に進めないのだから。

みんなも今まさにそのような状況ではないだろうか。初めての考査を目前にして、あれもやらなきゃ、これもやらなきゃ……。早くから計画的に取り組み、万全の準備ができて考査を待ち遠しく思っている人は少数で、もっと早くから取りかかっておけばよかったと後悔している人、勉強量の多さに、これはもう駄目だと諦めかけている人の方が多いのではないだろうか。でも、目の前のことに誠実に向き合い、自分ができることを粘り強くやってほしい。この3か月間で積み重ねた知識を、もう一度振り返り整理していこう。ある日突然、全ての問題が解けるようになるわけではない。自分に出来る最大限の努力をきちんと積み重ねた人だけが、自分の結果に納得できるのではないだろうか。思うように勉強が進まなくて焦っているかもしれない。でも、丸覚えも意味がない。きちんと理解を深めながら、粘り強く学習した結果だけが、自分の知識として定着していくものである。近道はない。一歩ずつ、着実に進んでいくしかない。出来る限り、粘ろう。

話は変わるが、先日の人権・同和教育ホームルーム活動では、より良い人間関係をつくろうというテーマで学習をした。自尊心やアサーティブネスなど初めて聞いた言葉もあったかもしれない。入学から三か月经ち人間関係も深まってきたが、その関係に甘えることなく、相手を思いやる優しさがほしい。相手を尊重するだけでなく、自分の気持ちや意見も伝えてほしい。学校や社会という公共の場で、どのように行動するのが最善なのかも考えてほしい。「知って(わかって)いる」と「できる」には大きな違いがある。「知っている」だけでなく、「できる」人になってほしい。

次にあげるのは、私の好きな詩の一つである。

あなたがそこに ただいるだけで その場の空気があかるくなる

あなたがそこに ただいるだけで みんなのこころがやすらぐ

そんなあなたに わたしになりたい

「ただいるだけで」 相田みつを

どんな「あなた」を想像しただろうか。実際に誰かが思い浮かんだら幸せ者だ。近くにそういう存在がいて、そう感じられる素直さが素敵だ。憧れを抱き、そうなりたいと努力できるとより輝いていこう。今はまだそんな人はいないという人も、大丈夫。きっとこの先の人生で出会える。居てくれるだけで嬉しいなと思い、思われる人達に出会える関係を築いてほしいと願う。

1年3組 担任

## どうせやるなら

どうせやるなら、一生懸命にやってみる。誰にでもできることを誰よりもやる。朝読書。授業や廊下等での挨拶。10分間の清掃。一生懸命はかっこいい。

どうせやるなら、ポジティブに考える。向き・不向きよりも前向きに。物は考えようで、為せば成る、為さねば成らぬ、何事も。

どうせやるなら、積極的にやってみる。失敗したっていいじゃない。できないことは全く問題ではなくて、大切なのはできるまでやり続けること。失敗とどれだけ向き合っているか。

どうせやるなら、辛い道も選んでみる。人が嫌がることにこそ、価値がある。

どうせやるなら、あたたかい言葉をかけてみる。短所を指摘するよりも長所を見つけて褒めてみよう。寛容さを忘れたらいかんよ。

どうせなら、やってみる。

1年3組 副担任